

## ～ DME（ジメチルエーテル）トラックの出発式 ～

自動車技術安全部 保安・環境調整官

11月17日（火）新潟県庁において次世代のクリーンエネルギーとして期待されるDME（ジメチルエーテル）トラックの出発式が行われました。

国土交通省では、革新的技術を投入し、環境性能を大幅に向上させた次世代の低公害トラック・バスの開発・実用化を進めるため、独立行政法人交通安全環境研究所を中核的研究機関として産学官の連携により「次世代低公害・実用化促進プロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトにおいて開発し、走行試験を行ってきたDMEトラックについて新潟県内において燃料製造事業者、燃料充填事業者、運送事業者及び地方公共団体等の協力を得て実証運行試験を行うものです。

DME自動車は、PM（粒子状物質）がほぼゼロであり、排ガス後の後処理の必要がなく、また、石油代替エネルギーであるなどの利点があり、次世代低公害車の一つとして普及が期待されています。

出発式では、DMEトラックを前に、当運輸局の久米次長が主催者を代表して「新潟県は日本国内で唯一DME燃料の製造プラントがあり、次世代低公害車開発に重要な役割を担う」との挨拶をされ、その後、関係者全員でテープカットをして、DMEトラック実証実験のスタートを祝しました。



トラックは中型車で新潟市から中越地方の病院へ人工透析液を運ぶのに使用され、今後3年間、実用化にむけて、データ取りをすることとなっています。

トラックは排気ガスの後処理装置も使わず排気ガス規制に適合しており、音が静かで、排気ガスも透明なものでした。

今後、早期の実用化を期待したいものです。